

第19回 医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム

mRNA医薬の現状と今後の展望

日時 2023年 1月 17日 (火) 13時00分～17時50分
【開場：12時30分～(予定)】

会場 日本薬学会長井記念館 長井記念ホール (オンサイト開催)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15

プログラム

開会挨拶 国立医薬品食品衛生研究所 井上 貴雄

【第一部】 13:05～15:15

「mRNA創薬の現状と今後の課題」 東京医科歯科大学 位高 啓史

「環境応答性脂質様材料を基盤としたmRNAデリバリー技術」 東北大学 秋田 英万

「mRNAワクチン開発と課題」 第一三共株式会社 武下 文彦

「mRNA医薬の製造と課題」 タカラバイオ株式会社 峰野 純一

「CDMOの視点での脂質ナノ粒子の製剤技術と課題」 富士フィルム株式会社 辻畑 茂朝

【第二部】 15:30～16:35

「mRNA医薬に関するPMDAの取り組み」 金沢工業大学/医薬品医療機器総合機構 山口 照英

「mRNA医薬の分析手法に関する取り組み」 国立医薬品食品衛生研究所 山本 武範

「mRNA医薬の炎症原性評価に関する取り組み」 国立医薬品食品衛生研究所 吉田 徳幸

【パネルディスカッション】 16:50～17:40

モデレーター：井上 貴雄 パネリスト：各演者の先生方

閉会挨拶 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会 部会長/国立医薬品食品衛生研究所 合田 幸広

※ 本フォーラムは、「第16回 核酸医薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム (日本核酸医薬学会レギュラトリーサイエンス部会主催)」との合同開催の位置づけで実施します。

申込方法：下記申し込みフォームよりお申込み下さい。(2022年11月1日より登録開始予定)

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/145d02c6742921>

定員：104名 (今後の状況変化により変更になる可能性があります)

参加費：無料

問合せ先：国立医薬品食品研究所 遺伝子医薬部内

kakusan-rs-sympo@nihs.go.jp (担当：細谷, 山下)

※ 申し込み多数の場合は、日本薬学会及び日本核酸医薬学会の会員を優先します。

【共催】日本核酸医薬学会 【後援】日本医療研究開発機構 (AMED)